



朝市の売り上げが20%増し。 新鮮な食材調達と、交流の場



新型コロナウイルスの蔓延から早1年。ドイツでもたびたびロックダウンが実施されているが、今回は12月半ばから3ヶ月以上続いている。食料スーパーやドラッグストアを除く一般小売店は閉まり、博物館、娯楽施設、飲食店、図書館なども閉じている。私的な集まりは、自分の家族プラス他の1家族のみ。小学1~4年生と高校の最終学年は1日おきに通学しているが、他学年は3ヶ月間自宅学習である。

そんな中で好評なのが朝市である。新鮮な野菜や果物、肉、魚のほか、ソーセージやスープ、コーヒーなどのスタンドが立つ。ハノーファー市(人口53万人)ではコロナ禍で、朝市での売り上げが2割増との調査結果が出た。

朝市は、広場や歩行者天国など市内25ヶ所で、週1、2回ずつ開かれている。正確には朝(7~13時)とは限らず、午後(13~18時)のところもある。

規模は数軒から85軒までさまざま。市は2年限定で、10万ユーロ(1300万円)かけてフルタイムの職員を配置

し、朝市を盛り上げるプログラムを実施していたが、コロナ禍もあり、成果が得られないまま期限が終了した。

しかしコロナ禍によってかえって、朝市の価値が見直された形だ。朝市が人気の理由はさまざまである。観光は禁止となり、デパートも洋品店もあいておらず、余暇には散歩ぐらいしかすることがないため、朝市に出かけることが1日のハイライトとなっている。

飲食店から持ち帰りはできても、店内で飲食できないため、自宅で料理する人が増え、新鮮な食材を求める人も多い。また自宅勤務が増え、仕事の合間に出かけやすくなったのも平日の朝市が人気の理由だろう。

朝市は交流の場でもあります。うちの近所の朝市には広場にカフェが1軒あるほか、コーヒースタンド(写真)が3つ立つ。フェアトレードの豆や、オーガニックの牛乳や豆乳を使うなど各店にこだわりがあり、みな他人と交流しつつ、生業を楽しんでいるように見える。

お店の人と話しながら、丁寧にコーヒーが入れられる様子を見るのは格別

だ。大っぴらに複数の友達と会う約束はできないが、朝市でコーヒーを飲んでいる時に友達と偶然会うのは許されるし、見知らぬ人と会話が弾むのは楽しい。これこそ、スローライフやエコライフの実践ではないだろうか。ちょっとしたことが日常に彩りを与え、そのありがたみを感じている。

また、コロナ禍によって健康に注意するようになり、オーガニックや地元産の食材を求める人が増えているという調査もあった。遠出できない分、地元の良さを再発見した人もいようだろう。

それにしても早くロックダウン解除となつてほしい。以前のように朝市の後、カフェに座ってカプチーノを飲みながら新聞を読める日を夢見ている。

ごみかんドイツ特派員 田口理穂

AKIRA の 成長記録

「コロナ禍と教育」について知り合いからアンケートが回ってきたので、明と回答しました。

質問1:自宅学習によりストレスを感じますか→明:ぼくはぜんぜんストレスを感じていません。勉強を1日最大4時間しかしてはいけなくて早く終わって楽です。

質問2:自宅でのオンライン学習になって、良かったことはありますか→明:好きな時に好きな宿題ができること。

質問3:生活リズムや健康を保つため、またストレス解消にしていることはありますか→明:ありません。

質問4:オンライン学習ではカバーしきれないことは何だと思いますか→明:生徒が本当に机に向かって勉強しているのか。もしテストをしても、誰かがずるをしてもカメラにうつらなければ先生には見えない。

質問5:学習の遅れが心配ですが、学校や政策に求めることはありますか→明:全員半年もどしてぜんぶやり直す。

質問6:コロナ収束後はどんな教育(対面授業、オンライン、両方など)が理想的だと思いますか→明:両方を組み合わ

せたものが理想だと思います。なぜならば病気の生徒でも参加できるからです。

わりと気楽な答えですが、12月半ばから自宅学習なので、実際のところ明は学校に行きたくてたまらないようです。週初めに課題が1週間分まとめて送られてきて週末に提出するのですが、英語、仏語、数学はひとりでするのはきついとぼやいています。最近は毎日のようにオンライン授業があり、先日は2回続けて忘れていて先生から電話で注意を受けました。毎年数人、成績が悪くて留年するのですが、今年は学習状況に不安を感じている子は自主的に留年できます。勉強は1日4時間までと決まっています、かつ宿題はないので、以前より学習量は減っているように感じます。

また、学校が何ヶ月も休みで子どもの心理的負担が大きい、学校をすぐ再開させるべきだと多くの専門家が訴えています。家にこもりがちで運動不足なのも問題。明は友達とオンラインで、コンピュータゲームをすることが増えました。4月前半の2週間は春休みで授業も宿題もありませんが、コロナ禍で旅行もできません。春休み明けから通学できることを切に願っています。